

平成 29 年 9 月吉日

各医療機関 御中

公益社団法人日本糖尿病協会
糖尿病医薬品・医療機器適正化委員会
委員長 貴田岡 正史

検査時のインスリンポンプおよび持続グルコース測定器の取り扱いに関する
啓発資料のご案内

拝啓 ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は日本糖尿病協会の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、新製品の導入などにより、インスリンポンプ（CSII）並びに持続グルコース測定器（CGM・FGM）を使用する患者数は年々増加しており、それに伴い、CSII・CGM・FGM を使用中の患者が X 線、CT、MRI などの検査を受ける機会も増加しております。患者には機器導入時に医療機関から取り扱いに関する注意事項の説明がございましたが、検査時に適切な取り扱いがなされなかったために不具合が生じたとの報告もございました。

上記のことから、当協会では、検査時に、該当する患者・医療者双方への注意喚起を行う必要があると考え、下記の啓発資料を作成いたしました。

①検査室前に掲示する患者向けポスター

患者からの該当機器使用の申告を促進します。

②製品ごとの取り扱い一覧リーフレット

患者からの申告後、医療スタッフが迅速に対応方法を確認できるようにします。

各医療機関におかれましては、こちらの資料をご活用いただき、検査時の CSII・CGM・FGM の適切な取り扱いの推進にご協力をいただけましたら幸いです。

公益社団法人としての日本糖尿病協会の活動の理念をご理解いただき、今後とも何卒ご高配賜りますようよろしくお願いいたします。

敬具